

科目名	建築・インテリア設計実習 2							年度	2025
英語科目名	Architectural & Interior design Practice 2							学期	後期
学科・学年	建築設計科 2年次	必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	天野 奈緒	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・在来軸組構法のプランニングの仕方を理解し、図面を書くことができる ・模型製作を通して、木造の構造を理解できる									
【科目の概要】 建築の基本である在来軸組工法の基礎を課題を通してプランニングから伏せ図、矩計図までの基本的な知識と作図方法を学ぶ。									
【到達目標】 A. 在来軸組工法によるプランニングの基礎を理解し計画している B. 伏せ図における構造の基礎を理解している C. 矩計図などを理解し、軸組み模型の製作ができる									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、SNSツールでの情報共有の頻度も評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	在来軸組構法を理解し 快適な計画ができる			在来軸組構法を理解し 基本的な計画ができる				在来軸組構法を理解し 計画することができない	
到達目標 B	在来軸組構法を理解し 的確な伏せ図を作成 することができる			在来軸組構法を理解し てはいるが、一部間違 いがある				在来軸組構法を理解し ておらず伏せ図を作成 することができない	
到達目標 C	矩計図・伏せ図を理解 し軸組み模型を作成す ることができる			矩計図・伏せ図を理解 してはいるが、一部間 違いがある				矩計図・伏せ図を理解 しておらず伏せ図を作 成することができない	
【教科書】 なし									
【参考資料】 配布資料									
【成績の評価方法・評価基準】 成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

